

## 平成30年度 事業報告

社会福祉法人 白い雲の会

### I はじめに

当法人が運営する「かしの木学園」は、昭和61年5月に開所、32周年を迎え、地域福祉・在宅福祉及び障がい者の自立と社会参加を当施設は地域社会の中でその役割を果たしてきたといえる。平成22年4月からは「就労継続支援B型事業」を行う「指定障害者福祉サービス事業者」として、利用者の工賃アップをめざし、人材育成、技術力の向上、製品開発に努めると共に、利用者一人ひとりへの適切な支援に取り組んでいる。

しかし、報酬改定によりB型事業の平均工賃による給付費単価の見直しを受け厳しい施設運営となっている。利用者の高齢化等による課題もあり、障害者虐待防止法、障害者差別解消法の下、利用者が安全・安心な学園生活を送れるよう、適切な支援の在り方について研修を深めながら取り組んできた。

### II 基本方針

「障がい者の生きがいと働くことの喜びを通じて、地域社会のなかであたり前に暮らす」

#### 1 中期的経営計画について

##### (1) 施設経営基盤の整備

障がい者の日中活動の場である「就労継続支援B型」事業は、利用料の実績（利用者数の日額）払いや加算方式、規制緩和など取り巻く経営環境は厳しさを増しており、事業体系に係る指定基準及び報酬単価に耐えうるだけのスリム化した経営基盤の強化・整備が不可欠である。さらに保護者・利用者の高齢化に伴うグループホームや生活介護事業等についても引き続き情報を収集し検討していくこととする。

##### (2) 施設整備（修繕・建替）計画

今年度は、自己資金による浄化槽の修理とマイクロバスのクラッチ修理を行った。

ただ、愛恵福祉支援財団の助成金の交付を受けて、厨房食器類と食堂の窓の遮光フィルム及びブラインドの整備をすることが出来た。

##### (3) 「就労継続支援B型」事業の推進

就労継続支援B型事業等について、国は障害者優先調達推進法を制定するなどして工賃向上計画を推進している。本園では、役職員が一体と

なって干支や木工商品、手芸商品、農作物等の販売に取り組んだり、天草市の委託事業を受けたり、各種販売会やイベント等への出店販売、販路先の開拓を行い収益の確保に役職員一体となって取り組んだ結果、今年度は、利用者への支払総額は29年度より若干であるが増額し、工賃向上計画目標値を達成することができた。

## 2 理事会・評議員会の運営について

「理事会」を3回、「評議員会」を1回開催した。

### (1) 理事会・評議員会の開催

#### 第1回理事会（5／26・土）

- 事業報告・決算報告及び監事監査報告について
- 定時評議員会の開催日時・場所並びに議案に付すべき事項の決定について

#### 第2回理事会（12／8・土）

- 事業報告及び予算執行状況について
- 平成30年度一時補正予算（案）について
- 育児・介護休業等に関する規則の改正について

#### 第3回理事会（3／16・土）

- 事業報告及び予算執行状況について
- 理事長専決事項の承認について（流用）
- 平成30年度第二次補正予算（案）について
- 平成31年度事業計画（案）について
- 平成31年度収支予算（案）について
- 就業規則の一部改正について
- 職員の昇給・昇格及び契約職員との更新について

#### 定時評議員会（6／12・火）

- 平成29年度 決算の承認、社会福祉充実計画及び監査報告について
- 平成29年度事業報告について

## 3 資産管理・会計管理

### (1) 資産管理

大規模な修繕や建て増し等はなかった。

### (2) 会計管理

法人本部及び施設の会計処理は、社会福祉法人新会計基準及び経理規程に基づいて厳正・公正な会計処理に努めてきた。また、予算及び予算の補

正等は理事会の承認を得るなど、予算の執行に当たっては必要な手続きを経て儉約に努めてきた。

#### 4 地域との関係

地域に協力し、ボランティアの受け入れ、生徒・地域民生委員等の福祉教育に協力するなど、ソフト面からも地域との関係を保ってきた。

(別記1：年間行事等実施状況)

### III 当面する課題と本年度の重点

#### (1) 利用者の工賃向上計画に対応できる生産活動種目・収益の確保

利用者の工賃アップに向け、干支・手芸・農作物の販売や天草市の委託作業を中心として収益の確保に努めた。具体的には、コースター等の新商品の開発、販売先の開拓、各種販売会やイベント等への出店を行い売上げ増に取り組んだ。

役職員一体で対応し、工賃の増額ができた。

#### (2) 情報公開の積極的な推進と個人情報保護等情報管理の徹底

情報公開は「かしの木学園事業報告」を作成し、財務諸表とともに天草市ホームページ及び日本財団 CANPAN を使用して公開してきた。個人情報の保護には特に注意を払いたく、的確に対応した。

#### (3) 利用者の高齢化に対応して、第5期障害福祉計画に対応できるよう情報収集・準備できるように、引き続き、グループホームや生活介護に関する事業内容等の把握に努めていく。

### IV 資金計画と経営努力

#### 1 経営努力

利用料の実績払いや報酬単価の見直し、加算方式への転換、新体系移行後の助成金のカット、規制緩和など社会福祉事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しているなか、経費の節減に努めてきた。

#### 2 資金計画

施設支援サービスに要する経費は、障害福祉サービス事業等収入（利用料）等で賄い、法人本部の運営経費は主に寄付金及び利息等で賄うなど、収支予算に基づく堅実な資金運営に努めてきた。

### V 平成30年度決算について（詳細は決算報告書にて）